

## 令和 7 年度 事業報告

### 事業の概要

令和 7 年度は、第 7 次中長期計画（令和 7 年度から令和 10 年度の 4 年計画）の初年度として、会員数 1,766 人、契約金額 82,103 万円、就業率 83.5% の達成を目標に掲げ、事業運営を進めました。特に、「就業機会の確保と拡大」「会員の入会促進と普及啓発活動の推進」「安全就業と健康管理の推進」を重点施策として位置付け、会員および役職員が一体となり、地域に根ざした事業展開に努めてまいりました。

その結果、令和 7 年度の実績は、次のとおりとなりました。

### 会員数

年度	男性	女性	合計	対前年度	増減率
令和 7 年度	1,112	596	1,708	-17	-0.99%
令和 6 年度	1,134	591	1,725	12	0.70%
令和 5 年度	1,122	591	1,713	-38	-2.17%
令和 4 年度	1,138	613	1,751	12	0.69%
令和 3 年度	1,128	611	1,739	-24	-1.36%

会員数につきましては、令和 8 年 3 月末現在で令和 6 年度に比べ 17 人減少の 1,708 人（男性 1,112 人、女性 596 人）となり、目標会員数には届きませんでした。会員構成においては、女性会員の増加が見られる一方で、全体としては減少傾向となっており、今後に向けて入会促進の取組を一層強化していく必要があります。

### 年間契約額

年度	年間契約額	前年度対比額	前年度対比率
令和 7 年度	804,763,787	-54,177,426	-6.31%
令和 6 年度	858,941,213	-9,951,136	-1.15%
令和 5 年度	868,892,349	19,552,926	2.30%
令和 4 年度	849,339,423	13,765,559	1.65%
令和 3 年度	835,573,864	-16,877,305	-1.98%

年間契約額につきましては、令和 7 年度の実績といたしまして 804,763 千円となり、前年度実績には及びませんでした。令和 6 年度と比較して 54,177 千円の減額となり、前年度対比率で 6.31% の減少となりました。

減少の要因としては、受注件数の減少や就業会員数の伸び悩み等が影響したものと考えております。今後は、受注機会の拡大や会員確保の強化、派遣事業の活用等により、契約額の回復・拡大に努めてまいります。

なお、契約額割合は、公共 24.1%、民間 75.9%となっております。

## 1 就業機会の確保・拡大

### (1) 民間企業からの受託事業の拡大

就業機会創出員を新たに4名採用し、受付や電話対応、新規発注申込への対応など発注者対応の強化を図るとともに、就業機会の確保・拡大に努めました。

### (2) 公共機関からの受託事業の拡大

令和7年10月の参議院選挙及び令和8年2月の衆議院選挙に関する業務を受注し、約270万円の実績を上げました。

### (3) 適正就業ガイドラインに沿った就業推進

適正就業ガイドラインに基づき、請負事業及び労働者派遣事業の適正な運用に努めました。

また、株式会社万代において指揮命令関係が生じることから、令和8年度より労働者派遣契約へ切替える申込みがありました。

### (4) 高年齢会員の就業の場の確保

発注者に対し年齢不問での求人依頼を働きかけるとともに、80歳以上の会員の就業実績について周知し、高年齢会員の就業機会の確保に努めました。

### (5) 独自事業による就業機会の確保・拡大

野菜販売については「ふれあい野菜広場」委員会を中心に取組を進め、販売実績の向上に努めました。

また、「空き家・空き地等対策事業」についても、新規受注や既存発注者からの追加依頼に対応し、受注拡大に努めました。

### (6) 就業ミスマッチの解消

入会時の面談を通じて会員の希望や適性の把握に努め、就業ミスマッチの解消に努めました。

### (7) 未就業相談の実施

毎月「未就業相談」を実施し、未就業会員の状況把握と早期就業に向けた支援を行いました。

### (8) 就業機会の情報提供

「事務局だより」と共に、センターホームページ（毎週更新）に求人情報を掲載し、スマートフォン・パソコンによる情報提供を実施しました。

### (9) 日常生活支援サービス事業の就業開拓・拡大

各種生活支援サービスについて、家事介護班及び単発班を中心に新規受注に対応

し、就業機会の拡大に努めました。

## 2 会員の入会促進と普及啓発活動の推進

### (1) 会員の入会促進

- ①オリジナル会員募集チラシについては、在庫状況及び包括契約への移行時期を踏まえ、作成を見送りました。
- ②市役所及びハローワークにおいて会員募集チラシの配架を行うとともに、キッズダンスイベントや認知症関連イベントにおいて「きらめきフェスタ」のチラシ配布を実施しましたが、民間施設への配架には至りませんでした。
- ③「きらめきフェスタ」開催時に入会コーナーの設置は行いませんでしたが、ポスター掲示や会場内での職員配置により会員募集のPRを行いました。また、八尾商工会議所主催のセミナーへの参加や市の地域就労支援センターとの連携により、入会促進に努めました。
- ④SNSに精通した人材の確保には至りませんでした。ホームページや会員クラウドサービスを活用し、入会促進に取り組みました。
- ⑤八尾市が推進する「公園てくてく健康づくりコース」に広報委員が参加し、入会促進に努めました。
- ⑥会報誌「きらめき」の発行に合わせ、7月及び1月に地域班長宅へ会員入会ポスターを掲示しました。また、掲示先を精査することで効率的な周知に努めました。
- ⑦普及啓発月間において、大型商業施設でポケットティッシュ配布を実施し、延べ61人が参加、約3,000個を配布しました。

### (2) 女性の入会促進

- ①女性委員会を定期的に開催し、入会促進に向けた検討を行うとともに、高齢者施設へのウエス配布やイベントへの参加を通じて活動の周知に努めました。また、「きらめきフェスタ」においては、野菜販売やバザーの運営補助を行い、会員としての活動の幅を広く発信しました。
- ②女性向けの取組として、11月に豚まんづくり体験、3月に健康講座を実施し、「仕事だけではない、楽しいシルバー人材センター」を発信することで入会促進に努めました。

### (3) 普及啓発活動の推進

- ①「市政だより」や新聞等の紙媒体への広告掲載、「やお河内音頭まつり」での広告掲出を行うとともに、ホームページを活用し、「きらめきフェスタ」等のイベント情報の発信を行いました。
- ②10月18日に八尾市文化会館（プリズムホール）小ホールにおいて「きらめきフェスタ」を開催し、MC I 講座や防災講座、キッズダンス等の新企画を

実施しました。来場者は598人となり、前年度を大きく上回りました。また、バザー及び野菜販売も実施しました。

- ③「やお河内音頭まつり」において、会員及び職員の有志による「生き生き倶楽部きらめき連」として参加し、センターの普及啓発に努めるとともに、「魅力創造賞」を受賞しました。
- ④センターキャラクター「チエブクロー」を活用した帽子（キャップ）を作成し、各種イベントにおいて着用することでPRを行いました。
- ⑤普及啓発月間中のティッシュ配布や「きらめきフェスタ」、「大和川クリーン作戦」等において「きらめき」ベストを着用し、センターの認知度向上に努めました。
- ⑥3月に実施された健康ハイキングへの参加を通じ、「健康ウォーキング」の調査・研究を行いました。

#### (4) 会員相互の交流と社会貢献活動

- ①会報誌「きらめき」を年2回（7月・1月）発行し、会員相互の連帯感の醸成に努めました。
- ②「きらめきフェスタ」や「やお河内音頭まつり」など各種イベントへの参加を通じ、会員及び市民との交流を図るとともに、「大和川・石川クリーン作戦」に参加し、社会貢献にも努めました。
- ③センター独自のボランティア活動について検討を行いましたが、十分な実施には至りませんでした。
- ④「きらめきフェスタ」においてバザーを実施し、売上金全額を災害義援金として寄付しました。

#### (5) 各委員会・他市センターとの連携

- ①地域委員会と連携し、熱中症等のリスクを考慮した会報誌配布方法の見直しやポスター掲示の効率化を図りました。
- ②他市センターとの交流については、門真市シルバー人材センターへの視察研修を実施し、普及啓発活動に関する情報共有を行いました。

### 3 安全就業と健康管理の推進

#### (1) 安全対策事業の実施

- ①安全・適正就業委員会等により定期的に就業現場の巡回を実施し、会員一人ひとりの安全意識の高揚を図るとともに、就業途上における自転車事故防止について注意喚起を行いました。  
また、安全就業ハンドブックの携帯については、入会時及び巡回時に周知徹底を図りました。
- ②安全巡回時には、就業会員への聞き取りを行いながら、現場の安全確認、作業

に適した服装・履物の着用状況、器材・道具類の点検・確認に努めました。あわせて、熱中症予防のための水分補給や空調への配慮、共同作業前の安全点呼の徹底について注意喚起を行いました。

また、「安全就業基準」についてはセンターホームページに掲載し、周知を図りました。

- ③安全・適正就業委員会を定期的開催し、傷害事故及び賠償事故の原因分析を行い、「安全・適正就業委員会だより」に掲載することで注意喚起を行い、再発防止に努めました。

また、道路交通法改正による自転車運転に関する罰則強化を踏まえ、「きらめきフェスタ」において寸劇を実施するなど普及啓発を行いました。さらに、安全スローガンを募集し、各種媒体に掲載することで安全意識の向上を図りました。

- ④7月の「安全・適正就業強化月間」にあわせ、のぼりの掲揚及び安全巡回パトロールを重点的に実施しました。
- ⑤大阪府シルバー人材センター協議会が主催する安全就業大会及び推進員会議に、委員及び推進員が参加しました。
- ⑥安全巡回時において、自転車保険の加入促進及び自転車用ヘルメット着用について周知を行うとともに、購入助成制度の活用推進に努めました。
- ⑦新規受注事業については、指揮命令関係が生じやすい業務を中心に、適正就業の観点から発注者に対し労働者派遣契約への切替えを要請しました。

## (2) 健康保持増進事業の実施

- ①近年の記録的な酷暑の影響による熱中症リスクの高まりを踏まえ、5月に「熱中症予防講習会」を実施するとともに、予防パンフレットを全会員へ配布し、周知に努めました。
- ②10月に健康増進を目的として健康ハイキングを計画しましたが、雨天により中止となったため、改めて参加者を募集し、3月に実施しました。

## (3) 安全講習会の実施

- ①交通安全講習会については実施には至りませんでした。また、「きらめきフェスタ」において自転車安全運転に関する寸劇を実施するとともに、八尾警察署による交通安全啓発ブースを設置し、安全意識の高揚に努めました。
- ②普通救命・AED（自動体外式除細動器）講習会については実施には至りませんでした。また、草刈機作業における飛び石による賠償事故の発生を踏まえ、「草刈機安全講習会」を実施しました。
- ③健康福祉部の協力を得て、熱中症予防・対策に関する健康講習会を実施しました。

## 4 適正就業の推進

- ①「適正就業ガイドライン」に基づき、請負・委任契約での対応が困難な業務については、労働者派遣事業及び職業紹介事業への切替えを推進しました。
- ②センターの「就業基準」に基づき、会員に対し適正かつ公平に就業機会を提供するため、わかちあい就業（3年）及びローテーション就業を実施しました。
- ③特定の職種において応募者の偏りが見られることから、応募者に対する面接を実施し、選考基準の明確化と公平性の確保に努めました。  
また、第2・第3志望への転換を推奨し、就業機会の適正配分に努めました。

## 5 技能講習会の実施

- ①除草作業における安全就業の徹底を図るため研修会を実施するとともに、賠償事故が多発している状況を踏まえ、除草講習会も実施しました。
- ②業務に役立つ知識・技能の習得を目的とした情報機器活用講習会として、スマートフォン講習会を実施しました。
- ③筆耕業務に従事できる会員の育成を図るため、宛名書き講習会を実施しました。
- ④利用者に寄り添ったサービス提供を目的とした家事援助会員の意見交換会については、実施には至りませんでした。
- ⑤学校園等で就業する会員を対象に、ハラスメント防止に関する研修会を実施しました。
- ⑥運転を伴う業務に従事する会員を対象とした安全講習については、実施には至りませんでした。
- ⑦大阪府シルバー人材センター協議会主催の技能講習会として「家事援助サービス講習会」を企画しましたが、応募者数の関係により実施には至りませんでした。

## 6 組織体制の強化

### (1) 地域班組織体制の確立と強化

- ①会員の意見・要望などをセンター運営に反映しやすい組織づくりに取り組みました。
- ②会報誌「きらめき」について、令和7年7月に第99号、令和8年1月に第100号を配布しました。配布にあたっては、熱中症や感染症への注意喚起を行いながら、可能な範囲で会員とのコミュニケーションの確保に努めました。  
また、配布時に実施したアンケート結果を地域委員会内で共有するとともに、会員及び班長から寄せられた要望・疑問等に対する事務局の回答を掲載し、全班長へ周知しました。

- ③地域委員会を年5回開催し、「班長のつどい」の開催や「きらめきフェスタ」への参加、会報誌の配布方法の見直し等について検討を行うとともに、班長不在地区の解消に向けた情報共有や、地区長間における経験・体験の共有に努めました。
- ④「班長のつどい」として、令和7年11月にグラウンドゴルフ、令和8年3月にディスコンを開催し、班長相互の交流を深めるとともに、情報共有及び連携強化を図りました。あわせて、のぼりの掲揚やセンターの帽子・ベストの着用により、一体感の醸成と普及啓発に努めました。
- ⑤重点開催地区として山本地区及び南高・高安地区を定め、合同班長連絡会議を開催し、会報誌の配布や各種事業に関する意見交換を行いました。
- ⑥班長連絡会議への参加を契機に「班長のつどい」への参加を呼びかけた結果、会議参加者の多くが各行事へ参加するなど、相互参加による好循環の形成に努めました。
- ⑦会報誌配布時に「会員募集ポスター」を、また「きらめきフェスタ」開催前には案内ポスターを班長宅へ送付し掲示を行いました。  
なお、掲示可否についてアンケートを実施し、掲示可能な班長宅に限定することで効率化を図りました。
- ⑧地域班組織を活用し、普及啓発活動や「大和川・石川クリーン作戦」への参加、「きらめきフェスタ」におけるパネル展示等を通じて、各委員会や関係団体と連携した活動を推進しました。

## (2) 地域班長不在地区の解消

- ①地域委員会において班長不在地区の情報共有を行い、解消に向けた検討を行いました。  
その結果、長期間不在であった地区において新たに班長が選出され、不在状態の解消に至りました。
- ②会報誌の配布や「きらめきフェスタ」でのパネル展示等を通じて、地域班活動及び班長の役割の周知に努めました。
- ③地域委員会での情報共有を踏まえ、地区長を中心に人材の発掘に取り組みました。
- ④近隣地域班からの班長選出や複数班の兼任など、柔軟な対応により地域班体制の維持に努めました。

## 7 効率的なセンター運営と事務局体制の充実

### (1) 自主財源の確保

- ①センターホームページにおいて求人情報を毎週更新し、受注拡大・会員拡大や情報提供に取り組みました。また、報奨制度やポイント制度を活用した「1会

員1名の会員勧誘運動」を推進するとともに、「きらめきフェスタ」の開催や動画配信等による普及啓発活動を実施し、事業の拡大に努めました。

- ②消費税の適格請求書保存方式（インボイス制度）の影響により納税負担の増加が見込まれることから、令和8年4月からの事務費率を10%から12%へ引き上げることを決定しました。

また、「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律（フリーランス新法）」への対応や新たな契約方式（包括的契約）について、大シ協等の研修・会議を通じて情報収集を行い、引き続き検討を行いました。

- ③会費未納者に対しては、継続意思の確認を行いながら年4回の督促を実施し、継続意思のない会員については退会処理を進めました。

また、振込による納付の周知を図り、納付促進に努めました。

- ④未収金については、滞納者リストを共有し、就業停止措置や返済計画の提出を求めるなど回収強化に取り組むとともに、口座振替やコンビニ収納の活用により入金環境の整備を図りました。

- ⑤「適正就業ガイドライン」に基づき、請負での対応が困難な業務については派遣事業への振分けを進めました。

## （2）事務の効率化と経費の抑制

- ①コンピュータシステムの一部更新やAIの活用により事務処理の効率化を図るとともに、電子決裁ソフトの導入により決裁業務の電子化を推進しました。また、労務管理システムの活用により、より効率的な労務管理に努めました。さらに、OCRシステムの導入に向けた調査・試験を行い、ペーパーレス化の推進に取り組みました。

- ②会員クラウドサービスを活用し、配分金明細書の配信や就業条件の明示を行うとともに、事務局だより等を通じて利用促進を図りました。

また、スマートフォン講習会を計5回実施し、会員のデジタルリテラシー向上に取り組みました。

- ③「フリーランス新法」への対応として、新たな契約方式の導入に向けた調査・研究を行い、一部業務での試験導入を決定するとともに、必要な規程改正を実施しました。

## （3）補助事業の推進

「高年齢者就業機会確保事業費等補助金」を活用するとともに、「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」に係る補助金を15,445千円に拡大し、センター事業の推進に努めました。

## （4）事務局体制の整備

- ①事務局職員の新規採用に向け、担当課である高齢介護課と協議を進め、令和8年4月採用として正職員2名を採用しました。これにより、将来の事業運営

を見据えた体制強化を図りました。

- ②八尾市と連携し、市が実施する職員研修への参加を推進するとともに、全シ協・大シ協等が主催する各種講習会や、社会保険協会等の研修を活用し、職員の資質向上に努めました。

## 8 関係機関との連携

### (1) 行政機関との連携

大阪労働局、大阪府及び八尾市等の行政機関との連携を図り、公共事業の受注拡大に努めるとともに、補助金等の支援拡大に向けた要請を行いました。

### (2) 各種団体との連携

①中部ブロック及び大シ協主催の事務局長会議や担当者会議に参加し、情報共有及び意見交換を通じて連携を図り、事業運営の円滑な推進に努めました。

②昨年に引き続き、高齢クラブ広報誌（令和7年8月発行第118号）に広告掲載を行いました。関連する各団体との連携を図り、円滑な事業運営に努めました。

## 9 事務所の整備

事務所建設準備資金については、引き続き積立計画に基づき積み立てを行い、年度末の積立額は9,800万円となりました。

また、八尾市の担当課である高齢介護課と協議を重ねるとともに、事務所移転に向けた検討体制として事務局内に新拠点整備のためのプロジェクトチームを設置し、移転計画の具体化に向けて取り組みました。

さらに、近隣センターの事例として門真市シルバー人材センターへの視察を実施するなど、施設整備に係る調査・研究を行い、「八尾市シルバー人材センター新拠点整備事業計画」を策定し、令和8年3月の理事会において承認を得ました。

## 2. 主な行事の開催状況

日程	行事名	開催場所	備考
4月	1日 辞令交付式	センター会議室	
	7日 ふれあい野菜広場運営委員会①	センター会議室	
	8日 入会説明会①	文化会館4階研修室	
	9日 除草班会議①	センター会議室	
	11日 「事務局だより」 発送①	センター会議室	全会員
	14日 面談・入会手続き①	センター会議室	
	15日 面談・入会手続き②/未就業相談①	センター会議室	
	16日 広報委員会①	センター会議室	
	21日 衣目会計定期監査①	センター会議室	
	24日 センター監査	センター会議室	
30日 役員選考員委員会	センター会議室		
5月	2日 中部ブロック事務局長連絡会議①	大阪府シルバー人材センター協議会	
	9日 入会説明会②	文化会館4階研修室	
	三役会①	センター会議室	
	13日 面談・入会手続き③	センター会議室	
	14日 除草班会議②	センター会議室	
	きらめき編集会議① (99号)	センター会議室	
	15日 面談・入会手続き④/未就業相談②	センター会議室	
	16日 広報委員会②	センター会議室	
	20日 理事会①	水道局庁舎4階大会議室	
	議案書発送	センター会議室	
	21日 きらめき編集会議②(99号)	センター会議室	
	安全・適正就業定期巡回①	八尾市内	
	23日 安全・適正就業委員会①	本町第2公園事務所	
27日 地域委員会①	センター会議室		
28日 きらめき編集会議③ (99号)	センター会議室		
健康管理講習会	文化会館4階研修室		
6月	6日 定時総会	文化会館小ホール	
	理事会②	文化会館小ホール楽屋	
	9日 ふれあい野菜広場運営委員会②	センター会議室	
	10日 入会説明会③	文化会館4階研修室	
	きらめき編集会議④ (99号)	センター会議室	
	11日 安全・適正就業定期巡回②	八尾市内	
	除草班会議③	センター会議室	
	12日 大シ協大阪関西万博実行委員会①	大阪府シルバー人材センター協議会	
	13日 広報委員会③	センター会議室	
16日 面談・入会手続き⑤	センター会議室		
17日 面談・入会手続き⑥/未就業相談③	センター会議室		

日程	行事名	開催場所	備考	
6月	18日	きらめき編集会議⑤ (99号)	センター会議室	
	19日	大シ協定時総会	アウィーナ大阪	
	20日	近シ協定時総会	クサツエストピアホテル	
		きらめきフェスタ実行委員会①	文化会館 4階会議室 3	
	24日	全シ協定時総会	日本教育会館一ツ橋ホール	
	25日	きらめき編集会議⑥ (99号)	センター会議室	
		中部ブロック職員連絡会議① 業務委員会①	大阪狭山市シルバー人材センター センター会議室	
	26日	安全・適正就業委員会②	センター会議室	
27日	大シ協事務局長会議①	アウィーナ大阪		
	女性委員会①	本町第2公園研修室		
7月	7・16・25・30日	安全・適正就業巡回 (強化月間)	市内事業所	
	8日	入会説明会④	文化会館 4階研修室	
	11日	会報誌「きらめき」第99号発送	センター会議室	全会員
	15日	面談・入会手続き⑦	センター会議室	
	16日	職員採用試験委員会①	センター会議室	
	17日	面談・入会手続き⑧ / 未就業相談④	センター会議室	
	18日	大シ協安全就業大会①	アウィーナ大阪	
		中部ブロック事務局長連絡会議②	富田林市シルバー人材センター	
	25日	広報委員会④	センター会議室	
29日	地域委員会②	センター会議室		
8月	6日	ふれあい野菜広場運営委員会③	センター会議室	
	8日	入会説明会⑤	文化会館 4階研修室	
		剪定班会議	センター会議室	
	13日	除草班会議④	センター会議室	
	18日	面談・入会手続き⑨	センター会議室	
	19日	面談・入会手続き⑩ / 未就業相談⑤	センター会議室	
	20日	三役会②	センター会議室	
	21日	広報委員会⑤	センター会議室	
	21・22・25日	わかちあい就業交代募集/説明会	センター会議室	
	25・26日	近シ協管内事務局職員研修会	アウィーナ大阪	
	26日	衣目会計定期監査②	センター会議室	
28日	中部ブロック職員連絡会議②	東大阪市シルバー人材センター		
29日	理事会③	文化会館 4階会議室 3		
9月	1・2日	全シ協新任局長研修	連合会館	
	3日	きらめきフェスタ実行委員会②	文化会館 4階会議室 3	
	5日	入会説明会⑥	文化会館 4階研修室	
		全シ協派遣元責任者講習	京都JAビル	
	5・8・9日	わかちあい就業選考会①	センター会議室	
10日	大シ協事務局長会議②	アウィーナ大阪		

日程	行事名	開催場所	備考	
9月	10日	除草班会議⑤ 安全・適正就業定期巡回③ ホームページ制作委員会①	センター会議室 八尾市内 センター会議室	
	12日	「事務局だより」発送② 中部ブロック事務局長連絡会議③	センター会議室 羽曳野市シルバー人材センター	
	16日	面談・入会手続き⑩	センター会議室	
	17日	中部ブロック安全就業推進員連絡会議①	文化会館 4階第3会議室	
	18日	面談・入会手続き⑫/未就業相談⑥	センター会議室	
	24日	広報委員会⑥	センター会議室	
	26日	安全・適正就業委員会③ きらめきフェスタ バザー納品受付	本町第2公園研修室 センター会議室	
	30日	地域委員会③ 門真市シルバー人材センター視察	センター会議室 門真市シルバー人材センター	
	10月	6日	ふれあい野菜広場運営委員会④	センター会議室
6~10日		「シルバーの日」普及啓発活動(ティッシュ配布)	アリオ八尾	
7日		八尾市生活支援・介護予防サービス協議会①	水道局庁舎 4階大会議室	
8日		入会説明会⑦ 除草班会議⑥ 安全・適正就業定期巡回④	文化会館 4階研修室 センター会議室 八尾市内	
10日		女性委員会②	本町第2公園管理事務所	
15日		中部ブロック職員連絡会議③	柏原市シルバー人材センター	
16・23・30日		宛名書き講習会(縦書き)	社会福祉会館 2F 集会室	
16日		面談・入会手続き⑬/未就業相談⑦	センター会議室	
17日		面談・入会手続き⑭	センター会議室	
18日		きらめきフェスタ	文化会館小ホール	
22日		広報委員会⑦	センター会議室	
25日		八尾河内音頭まつり	八尾小学校 他	
27日		大シ協安全適正就業パトロール	センター会議室・八尾市内	
29日	きらめきフェスタ実行委員会③	文化会館 4階会議室 3		
11月	2日	職員採用第1次試験	文化会館 4階会議室 1	
	5日	きらめき編集会議①(100号) スマホ講習会①	センター会議室 文化会館 4階研修室	
	7日	女性委員会豚まん作り体験	蓬萊本館	
	10・20・26日	宛名書き講習会(横書き)	社会福祉会館 2F 集会室	
	11日	「事務局だより」発送③ 入会説明会⑧	センター会議室 文化会館 4階研修室	全会員
	12日	三役会③ きらめき編集会議②(100号) 安全・適正就業定期巡回⑤ 除草班会議⑦	センター会議室 センター会議室 八尾市内 センター会議室	

日 程	行 事 名	開 催 場 所	備 考	
11 月	13日	職員採用試験委員会②	センター会議室	
	17日	面談・入会手続き⑮	センター会議室	
	18日	面談・入会手続き⑯/未就業相談⑧	センター会議室	
	19日	きらめき編集会議③ (100号)	センター会議室	
	20日	理事会④	八尾市水道庁舎 4F 大会議室	
	21日	大シ協事務局長会議③	エル大阪	
		安全・適正就業委員会④	本町第2公園研修室	
	26日	ホームページ制作委員会②	センター会議室	
		広報委員会⑧	センター会議室	
	27日	班長のつどい (グランドゴルフ大会)	緑ヶ丘グランド	
28日	中部ブロック事務局長連絡会議④	藤井寺市シルバー人材センター		
	衣目会計定期監査③	センター会議室		
12 月	3日	きらめき編集会議④ (100号)	センター会議室	
	4日	スマホ講習会②	文化会館4階研修室	
		大シ協経験交流大会	アウィーナ大阪	
	7日	職員採用試験第2次試験	センター会議室	
	8日	ふれあい野菜広場運営委員会⑤	センター会議室	
	9日	入会説明会⑨	文化会館4階研修室	
	10日	きらめき編集会議⑤ (100号)	センター会議室	
		安全・適正就業定期巡回⑥	八尾市内	
		中部ブロック職員連絡会議④	藤井寺市シルバー人材センター	
	12日	職員採用試験委員会③	センター会議室	
15日	面談・入会手続き⑰	センター会議室		
16日	面談・入会手続き⑱/未就業相談⑨	センター会議室		
	全シ協職業紹介責任者講習	ホテルマイステイズ新大阪		
24日	理事会⑤		書面表決	
1 月	9日	入会説明会⑩	文化会館4階研修室	
	15日	面談・入会手続き⑲	センター会議室	
	16日	面談・入会手続き⑳/未就業相談⑩	センター会議室	
	20日	会報誌「きらめき」100号発送	センター会議室	全会員
	21日	広報委員会⑨	センター会議室	
	23日	安全・適正就業委員会⑤	社会福祉会館2F集会室	
	27日	地域委員会⑤	センター会議室	
		スマホ講習会③	文化会館4階会議室2	
	28日	女性委員会③	本町第2公園管理事務所	
	30日	中部ブロック事務局長連絡会議⑤	松原市シルバー人材センター	

日程	行事名	開催場所	備考	
2月	5日	スマホ講習会④	文化会館 4階会議室 2	
	6日	入会説明会⑩	文化会館 4階研修室	
		除草班全体会議	社会福祉会館 2F 集会室	
	10日	除草班会議⑧	センター会議室	
	12日	中部ブロック職員連絡会議⑤	松原市シルバー人材センター	
	13日	「事務局だより」発送④	センター会議室	全会員
	16日	面談・入会手続き⑳	センター会議室	
	17日	面談・入会手続き㉒/未就業相談⑪	センター会議室	
		大シ協安全就業大会②	アウィーナ大阪	
	18・19・20日	わかちあい就業交代募集/説明会	センター会議室	
		18日	草刈り講習会	龍華水みらいセンター
	19日	大シ協経理担当者会議	アウィーナ大阪	
		大シ協事務局長会議④	アウィーナ大阪	
	24日	大シ協システム別経理担当者会議	アウィーナ大阪	
25日	業務委員会②	センター会議室		
27日	衣目会計定期監査④	センター会議室		
3月	1日	大和川・石川クリーン作戦	大和川河川敷（大正橋付近）	
	5・6・9・10日	わかちあい就業選考会②	センター会議室	
	5日	大シ協 家事サービス研修	アウィーナ大阪	
	6日	入会説明会⑫	文化会館 4階研修室	
		八尾市生活支援・介護予防協議会②	水道局庁舎 4階大会議室	
	10日	三役会④	センター会議室	
	12日	班長のつどい②（ディスコン）	八尾市立総合体育館武道場Ⅱ	
	13日	中部ブロック安全就業推進会議②	羽曳野市シルバー人材センター	
	16日	安全・適正就業委員会⑥	センター会議室	
		面談・入会手続き㉓	センター会議室	
	17日	面談・入会手続き㉔/未就業相談⑫	センター会議室	
	18日	理事会⑥	八尾市水道庁舎 4F 大会議室	
	19日	広報委員会⑩	センター会議室	
	25日	女性委員会健康講座	本町第2公園管理事務所	
除草班会議⑨		センター会議室		
27日	ハラスメント研修	文化会館 4階研修室		
29日	健康ハイキング	古市古墳群と寺社巡り		

### 3. 会員の現況

〈年齢別・性別・職群別会員数〉

(令和8年3月31日現在)

職群	60～64歳		65～69歳		70～74歳		75～79歳		80歳以上		合計		職種別 構成比 (%)
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
(A) 専門技術群	2	0	8	3	24	4	35	12	13	1	82	20	6.0
(B) 技能群	2	0	7	1	28	1	51	10	36	7	124	19	8.4
(C) 事務整理群	4	11	16	22	14	19	19	32	8	9	61	93	9.0
(D) 施設管理群	16	0	64	1	110	5	129	7	54	0	373	13	22.6
(E) 折衝外交群	0	0	3	0	9	7	13	4	3	1	28	12	2.3
(F) 軽作業群	18	17	51	52	128	101	112	98	58	38	367	306	39.5
(G) サービス群	0	4	5	15	5	34	10	45	5	11	25	109	7.8
(H) その他群	0	0	3	1	16	11	22	10	11	2	52	24	4.4
合計	42	32	157	95	334	182	391	218	188	69	1,112	596	
男女総合	74		252		516		609		257		1,708		100
年齢別構成比	3.8	5.4	14.1	15.9	30.0	30.5	35.2	36.6	16.9	11.6	65.1	34.9	

# 4. 年間事業実績表

令和8年3月31日現在

月別	区分	公共 民間	就 業 延時間(時間)	業 延人員(人日)	受注件数 (件)	契 約			金 額 (円)			就業実人員	備 考
						配 分 金	契 約 金	契 約 率	材 料 費	事 務 費	計		
4月	公 共		12,698	4,724	68	14,293,479	1,426,895	148,386	15,868,760			1,151	会員数(当年度末現在) 男 性 女 性 計 1,112人 596人 1,708人
	民 間		42,798	11,850	729	47,284,798	4,722,767	91,581	52,099,146				
	合 計		55,496	16,574	797	61,578,277	6,149,662	239,967	67,967,906				
5月	公 共		12,427	4,670	0	14,026,243	1,399,721	175,152	15,601,116			1,155	就業状況 年間就業実人員 1,359人 年間就業率 79.6% 1日平均就業人員 785人 1日平均就業時間 3.3時間 1月平均就業日数 14.2日
	民 間		41,697	11,643	194	46,468,196	4,640,620	374,856	51,483,672				
	合 計		54,124	16,313	194	60,494,439	6,040,341	550,008	67,084,788				
6月	公 共		13,149	4,881	8	15,018,138	1,499,308	460,174	16,977,620			1,162	
	民 間		46,163	12,828	215	52,284,408	5,222,425	432,627	57,939,460				
	合 計		59,312	17,709	223	67,302,546	6,721,733	892,801	74,917,080				
7月	公 共		14,030	5,006	8	16,002,965	1,634,715	293,342	17,931,022			1,158	
	民 間		42,696	11,873	220	47,906,096	4,786,038	469,458	53,161,592				
	合 計		56,726	16,879	228	63,909,061	6,420,753	762,800	71,092,614				
8月	公 共		12,204	4,368	3	13,854,841	1,382,654	307,260	15,544,755			1,120	配分金状況 1時間平均単価 1,141円 1日平均単価 3,768円 1月平均配分金額 53,394円
	民 間		39,342	10,929	125	43,857,424	4,381,290	200,281	48,438,995				
	合 計		51,546	15,297	128	57,712,265	5,763,944	507,541	63,983,750				
9月	公 共		12,591	4,738	6	14,322,746	1,429,989	352,811	16,105,546			1,128	
	民 間		42,317	11,766	185	48,063,787	4,804,314	421,699	53,289,800				
	合 計		54,908	16,504	191	62,386,533	6,234,303	774,510	69,395,346				
10月	公 共		13,562	5,065	5	15,347,715	1,531,977	306,165	17,185,857			1,136	
	民 間		41,414	11,531	253	47,135,173	4,710,178	522,285	52,367,636				
	合 計		54,976	16,596	258	62,482,888	6,242,155	828,450	69,553,493				
11月	公 共		12,358	4,529	6	14,025,817	1,399,278	383,371	15,808,466			1,122	公民割合 (%) 契約件数 (民) 96% 契約金額 (民) 76%
	民 間		42,741	11,988	265	49,170,051	4,913,948	629,289	54,713,288				
	合 計		55,099	16,517	271	63,195,868	6,313,226	1,012,660	70,521,754				
12月	公 共		12,337	4,623	4	13,935,215	1,390,814	253,920	15,579,949			1,118	※労働者派遣事業 契約件数 42件 就業実人数 42人 就業延人数 6,771人日 契約金額 37,229,740円
	民 間		40,764	11,367	254	46,949,698	4,691,617	632,659	52,273,974				
	合 計		53,101	15,990	258	60,884,913	6,082,431	886,579	67,853,923				
1月	公 共		11,730	4,358	0	13,236,219	1,321,441	158,510	14,716,170			1,096	
	民 間		32,754	9,185	88	36,895,908	3,686,580	130,420	40,712,908				
	合 計		44,484	13,543	88	50,132,127	5,008,021	288,930	55,429,078				
2月	公 共		12,666	4,535	11	14,561,404	1,500,056	149,408	16,210,868			1,117	
	民 間		39,790	11,090	76	44,780,611	4,474,718	137,835	49,393,164				
	合 計		52,456	15,625	87	59,342,015	5,974,774	287,243	65,604,032				
3月	公 共		12,932	4,697	1	14,574,867	1,463,733	491,431	16,530,031			1,108	
	民 間		35,966	10,072	123	40,619,498	4,058,602	151,892	44,829,992				
	合 計		48,898	14,769	124	55,194,365	5,522,335	643,323	61,360,023				
合 計	公 共		152,684	56,194	120	173,199,649	17,380,581	3,479,930	194,060,160			13,571	
	民 間		488,442	136,122	2,727	551,415,648	55,093,097	4,194,882	610,703,627				
	合 計		641,126	192,316	2,847	724,615,297	72,473,678	7,674,812	804,763,787				
1ヶ月平均			53,427	16,026	237	60,384,608	6,039,473	639,568	67,063,649			1,131	

## 5. 職群別事業実績表

令和7年4月1日～令和8年3月31日

職群別	区分	公共 民間	就業延時間 (時間)	就業延人員 (人日)	受注件数 (件)	契 約			金 額		(単位：円)
						配 分 金	事 務 費	材 料 費	合 計		
専門技術群	公	共	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	民	間	2,537	606	5	2,935,758	293,575	0	0	3,229,333	3,229,333
	合	計	2,537	606	5	2,935,758	293,575	0	0	3,229,333	3,229,333
技 能 群	公	共	28	8	4	86,400	7,440	37,566	131,406	131,406	131,406
	民	間	8,498	2,133	684	16,434,548	1,643,459	1,399,050	19,477,057	19,477,057	19,477,057
	合	計	8,526	2,141	688	16,520,948	1,650,899	1,436,616	19,608,463	19,608,463	19,608,463
事務整理群	公	共	1,349	185	3	1,897,730	226,756	0	2,124,486	2,124,486	2,124,486
	民	間	10,575	2,545	21	12,143,517	1,216,849	2,608	13,362,974	13,362,974	13,362,974
	合	計	11,924	2,730	24	14,041,247	1,443,605	2,608	15,487,460	15,487,460	15,487,460
施設管理群	公	共	79,715	30,019	44	90,313,862	9,064,533	0	99,378,395	99,378,395	99,378,395
	民	間	175,926	36,505	79	198,136,022	19,789,621	7,700	217,933,343	217,933,343	217,933,343
	合	計	255,641	66,524	123	288,449,884	28,854,154	7,700	317,311,738	317,311,738	317,311,738
折衝外交群	公	共	2,174	1,451	2	2,470,654	243,734	0	2,714,388	2,714,388	2,714,388
	民	間	13,356	6,127	196	6,062,204	607,877	0	6,670,081	6,670,081	6,670,081
	合	計	15,530	7,578	198	8,532,858	851,611	0	9,384,469	9,384,469	9,384,469
軽作業群	公	共	68,344	23,736	64	76,872,277	7,674,215	3,339,974	87,886,466	87,886,466	87,886,466
	民	間	258,410	79,756	1,549	293,656,985	29,346,060	2,785,524	325,788,569	325,788,569	325,788,569
	合	計	326,754	103,492	1,613	370,529,262	37,020,275	6,125,498	413,675,035	413,675,035	413,675,035
サービス群	公	共	1,074	795	3	1,558,726	163,903	102,390	1,825,019	1,825,019	1,825,019
	民	間	16,682	7,744	189	19,240,604	1,915,052	0	21,155,656	21,155,656	21,155,656
	合	計	17,756	8,539	192	20,799,330	2,078,955	102,390	22,980,675	22,980,675	22,980,675
そ の 他	公	共	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	民	間	2,458	706	4	2,806,010	280,604	0	3,086,614	3,086,614	3,086,614
	合	計	2,458	706	4	2,806,010	280,604	0	3,086,614	3,086,614	3,086,614
合 計	公	共	152,684	56,194	120	173,199,649	17,380,581	3,479,930	194,060,160	194,060,160	194,060,160
	民	間	488,442	136,122	2,727	551,415,648	55,093,097	4,194,882	610,703,627	610,703,627	610,703,627
	合	計	641,126	192,316	2,847	724,615,297	72,473,678	7,674,812	804,763,787	804,763,787	804,763,787

## 6. 会員傷害事故の総括

令和7年度（R7.4.1～R8.3.31）の事故発生件数は16件であり、令和6年度の21件に比して5件減少した。

事故の主な原因は、就業途上における自転車やオートバイによる交通事故、並びに加齢に伴う身体機能の低下や不注意による転倒事故である。また、症状別では骨折・ヒビの件数が増加している。さらに、近年は気温上昇の影響により、熱中症による体調不良も引き続き注意を要する状況にある。

内訳は、就業中が前年の16件から10件と6件減少し、就業途上は前年の5件から6件と1件増加した。男女別では、男性が前年の16件から10件と6件減少し、女性は5件から6件と1件増加した。

事故の型別状況は、転倒6件、交通事故5件、その他（熱中症等）5件である。また、症状別では、骨折・ヒビ7件、打撲2件、捻挫1件、裂傷2件、その他（熱中症等）4件となっている。

今後も事故傾向を踏まえ、安全教育及び注意喚起の充実を図る。

### 令和7年度・令和6年度「就業中」「就業途上」別傷害事故比較表

	令和7年度				令和6年度			
	就業中		就業途中		就業中		就業途中	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
4月	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	1	0	1	1	2	2	0	0
6月	0	0	0	0	1	0	0	0
7月	0	1	1	0	1	0	1	0
8月	0	0	1	0	0	0	1	0
9月	0	0	1	0	2	1	1	1
10月	3	0	0	1	1	1	0	0
11月	1	0	0	0	0	1	0	0
12月	0	3	0	0	1	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	1	0	0	0	2	0	1	0
3月	0	0	0	0	2	0	0	0
合計	6	4	4	2	12	4	4	1
	10		6		16		5	
	16				21			

### 事故の型別状況

型別の状況	就業中		就業途中		計
	男性	女性	男性	女性	
転倒	3	2	1	0	6
転落	0	0	0	0	0
衝突	0	0	0	0	0
切れ	0	0	0	0	0
激突	0	0	0	0	0
交通事故	0	0	3	2	5
その他	3	2	0	0	5
合計	6	4	4	2	16

### 事故の症状状況

型別の状況	就業中	就業途中	計
骨折ヒビ	4	3	7
打撲	0	2	2
捻挫	1	0	1
皮膚炎症	0	0	0
裂傷	1	1	2
切り傷	0	0	0
その他	4	0	4
合計	10	6	16

## 7. 会員賠償事故の総括

令和7年度（R7.4.1～R8.3.31）の事故発生件数は6件であり、令和6年度の7件に比して1件減少した。

主な事故の内容としては、草刈り機作業における飛び石による物損事故や、作業中の不注意による車両等への接触事故が見受けられた。

これらの事故は、安全確認の不足や作業手順の徹底不足に起因するものが多く、今後においては、基本動作の徹底及び安全意識の向上を図り、再発防止に努める必要がある。

主な事故内容は次のとおりである。

- 1) 駅前において清掃道具を台車で運搬中、道具の一部がタクシーのドアに接触し、損傷を与えた。
- 2) 公園内の除草作業中、使用禁止の器具を使用したことにより飛び石が発生し、近隣住宅の車両及び玄関ドア等を破損させた。
- 3) 養生を行わず草刈り機による除草作業を実施した結果、飛び石により対向車の窓ガラスに損傷を与えた。
- 4) 荷受けカート運搬中、ストッパー未使用によりカートが移動し、自動ドアに接触し損傷を与えた。
- 5) 連結不十分なカートを収納中、一部が突出し、駐車車両に接触し損傷を与えた。

特に飛び石対策及び作業前点検の徹底が重要である。

令和7年度・令和6年度 賠償事故比較表

	令和7年度		令和6年度	
	男性	女性	男性	女性
4月	1	0	0	0
5月	0	0	1	0
6月	0	0	0	0
7月	1	0	0	0
8月	0	0	0	0
9月	1	0	0	0
10月	0	0	2	0
11月	1	0	1	1
12月	2	0	0	0
1月	0	0	1	0
2月	0	0	0	0
3月	0	0	0	1
合計	6	0	5	2
	6		7	